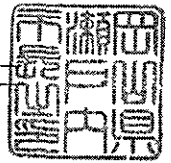


瀬戸内建第 352 号

平成20年10月3日

国土交通省道路局長 殿

瀬戸内市長 立岡 脩



今後の道路行政についての意見・提案について（提出）

平成20年9月19日付、国道企第37号で依頼のあった標記について、別紙のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

岡山県瀬戸内市

多くの市民から、住んでいる地域がもっと便利になる道路が欲しい、過疎化を止められるような道路が欲しい、又、企業も集まり地域がもっと発展するような道路が欲しい等々の希望が多く寄せられます。しかし、これらを満足させられるような幹線市道の建設は、交付金を頂いています。が現在の厳しい市の財政状況では、1路線を建設するのにも何年もかけて建設しなければなりません。

又、市内各地からの、身近な生活道路の改善要請も大変多く、しかも、いずれも切実な要望ばかりですが、これに使える財源も一般財源の内、ごく限られた額しか当てることができません。

国も地方自治体も共に大変厳しい財政状況ではありますが、もうこれ以上道路に当てる財源を減らすことは無理です。住民が安心して暮らせるよう地方道路に対する財源手当てが必要です。

②ー1 地域の現状と抱える課題

○現状

市内の広域的な幹線道路としては、市の北端を走る国道2号線と市中心部を東西に走る岡山ブルーラインがあります。

又、県道飯井宿線、備前牛窓線、西大寺備前線、岡山牛窓線、瀬西大寺線などにより、はしご状に幹線道路網があります。

市道は、北と南に山で隔てられた市内の中心部を南北につなぎ、合併後の市内中心部が一体的になるように、平成18年度から市道南北線の新設道路を建設中です。

○課題

国道については、交差点が改良され、大変有難い。しかし、岡山ブルーラインの無料化で軽減はされたが交通渋滞が解消していない。

岡山ブルーラインはハイウェイ的な良い道路ですが、出入口を増やしもっと有効に活用したい。

西隣の岡山市間の吉井川の、雄川橋と邑上橋の間が長すぎるため、また、工業団地への往来にも不便であるため、もう一本橋が必要です。

一般県道は、多くの箇所で一部拡幅、交差点改良や補修などの要望が出ていますが、あまり対応できていない。

市道は、住宅化が進む各駅の周辺に幹線道路が必要になっており、住民に身近な生活道では、緊急車両が通行可能に改良する要望や、路肩や側溝の整備など大量の要望が市に来ます。

②—2 地域の目指すべき将来像

岡山県瀬戸内市

広域的な道路交通ネットワークの整備を促進して、市民生活をもっと便利にし、産業活動も活発にして行く。そのために、国道・県道の連携や機能分担に配慮しながら、幹線市道の新設改良も推進し、安全性や利便性の向上を図り、地域連携と交流の時代に即した広域基盤の強化という長期的な展望に立ち幹線道路から生活道路に至るまで道路網の計画的、体系的な整備に取り組んで行く。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

岡山県瀬戸内市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・都市交通の快適性 利便性の向上	岡山ブルーラインの国道2号線のバイパス機能を、さらに発揮させるため国道に昇格してもらい、ブルーライン東端の備前市蕃山から山陽自動車道備前インターへの約3kmを改良し、同インターへ直接、接続する。 さらに、今後は、4車線化を進める。	兵庫県域との交流拡大による市の活性化、国道2号線の渋滞解消、大雨による備前市内での冠水時の通行止めに対処できる。少ない予算で投資効果が大きい。 ブルーラインは、田園地帯や丘陵地帯を通っているため、国道2号線のように、両側に事業所が密集しておらず、拡幅しやすい。	
・良好な生活空間 自然環境の形成	岡山ブルーライン一本松展望園(道の駅)から、錦海湾塩田跡地堤防沿いを通り、牛窓の住宅地域へ直線的に延びる県道を建設する。	日本のエーゲ海、牛窓の観光資源が生かせる。定住化が進み、過疎化が止まる。	